

「令和5年度群馬県部活動改革セミナー」65名の参加者で盛会に開催

2024年2月1日(木)、群馬県市町村会館において標記のセミナーを長崎県長与町金崎良一教育長をお迎えして開催しました。また、後半は「中学校と地域クラブの協働による地域移行の実際」と題して高崎市立新町中学校と特定非営利活動法人新町スポーツクラブのコミュニティースクールを核とした取組について上原裕道校長、小出利一理事長(群馬県総括コーディネーター)、金崎良一教育長を交えてトークセッションを開催しました。

このセミナーの目的は、市町村の中学校及び行政関係者に向けて、地域スポーツクラブアドバイザー(スポーツ庁)、中学校長、教育長を経験している講師を迎えて、学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けた実際の取組について学ぶ機会を設け、関係者の理解を深め、実践につながる取組への支援を目的としました。

金崎教育長は、長与町にある3つの中学校校長と学校教育課長を歴任して、2023年から教育長に就任しました。2020年長与町教育委員会学校教育課長時に卓球協会と長与スポーツクラブによる中学生卓球教室をスタートして部活動の融合を週1回開始しました。

長与町における、学校部活動の地域移行の合意形成等のプロセスについては、スポーツ庁のホームページをご覧ください。

https://www.mext.go.jp/sports/content/20240917-spt_oripara01-000028797_02.pdf



【トークセッションの部】

新町中学校と新町スポーツクラブの協働による部活動改革について、上原校長から OECD Learning compass 2030 をベースにしてコミュニティースクールとして学校運営協議会を中心にして部活動改革を進めていること。新町スポーツクラブとしては、2001年10月から中学生と高校生の意見から部活動の補助を開始して、現在は、協働関係へ発展させて中学校の部活動だけでなく体育授業(ヒップホップダンス)をクラブ指導者でもあるプロのダンサーが指導している等の協働活動を紹介しました。

金崎教育長と小出理事長は、常に改革の先頭になって行動することで風当たりが強く大変な時期を経験しています。それでも二人ともに「子ども達が、今より良い環境でスポーツ・文化芸術活動ができるようになればそれで良い」という強い信念で活動してきたことを紹介しました。また、「連携とは、理念が違っていても利害関係が一致する関係」「協働とは、理念も同じで利害関係も一致している関係」と言葉の定義についても説明しました。